

SYLLABUS 2026

中 学 受 験 部

小6 前期

CONTENTS

- 1 年間スケジュール
- 3 国語の学習
- 4 算数の学習
- 5 社会の学習
- 6 理科の学習
- 7 土曜YT講座・組分けテスト
- 8 入試過去問題演習
- 9 模擬試験の受け方
- 10 前期カリキュラム
- 18 授業カレンダー

年間スケジュール

	授業	テスト	講座・イベントなど
2026年 2月			
3月		組分け テスト	保護者会 中学入試 報告会
4月	前期	合不合格判定 テスト	土曜YT講座
5月		組分け テスト	NN志望校別 オープン模試②
6月		組分け テスト	NN志望校別 オープン模試①
7月	夏期講習会	合不合格判定 テスト	NN志望校別 オープン模試③
8月	夏期集中特訓	NN志望校別 オープン模試④	保護者会 個別面談 (有名中学校見学会・講演会) 夏フェス
9月		合不合格判定 テスト	NN志望校別 オープン模試①
10月		合不合格判定 テスト	NN志望校別 オープン模試②
11月	後期	SSクラス 統一テスト	NN志望校別 オープン模試③
12月	冬期講習会	SSクラス 統一テスト	NN志望校別 オープン模試④
2027年 1月	正月特訓	SSクラス 統一テスト	NN志望校別 オープン模試⑤

※変更が生じる場合がございます。

特別コース・選択講座

● NN志望校別コース（日曜講座・土曜講座）

学校別クラス編成により御三家中や早慶中などの志望校別対策を実施する講座で、前期は日曜のみ、後期は土曜も開講します。「NN」とは「何がなんでも」を略したものです。同じ志望校を目指すお子様を1か所の会場に集め、平日は同じ授業を受けていないライバルとの競争を楽しみながら切磋琢磨できる環境で、入試本番を見据えた授業を行います。それぞれの学校の入試問題を知り尽くした講師が、授業だけでなく教材の開発や模試の作成、進路指導なども行います。受講にあたっては志望校別に実施される模試を受験し、合格基準をクリアする必要があります。受講資格の判定材料となる模試は出題形式・出題傾向ともに学校の入試問題そっくりにつくられており、試験の解答時間や実施科目の順序も本番と同様に実施します。模試を実施する際には並行して保護者様対象の説明会も開催し、合格に向けて役立つ情報をご提供します。4月から7月に実施される前期講座と9月から1月に実施される後期講座があり、前期講座の受講資格を得た方も、7月以降の志望校別の模試で改めて後期講座の受講資格を得る必要があります。1月は「直前特講」として対象校の入試に似せた「そっくりテスト」を用いて対策を行います。

● 日曜特訓

日曜の午後に実施する選択講座です。例えば、「割合と比の文章題」のように、1回の授業を多くの生徒が苦手としているテーマ一つに絞って徹底的に強化していくようカリキュラムを組んでいます。平日の授業に比べ問題演習に多くの時間を割くため、演習量が確保できます。講座は各自の希望する回を選んで受講することができますので、「苦手科目や弱点単元を補強したい」「得意科目をさらに伸ばして得点源にしたい」「問題演習をたくさん行うことで実戦経験を多く積みたい」「競争しながら自分の力を高めたい」「日曜日も学習に取り組むことでライバルに差をつけたい」など、さまざまなニーズに合わせてご利用いただけます。

模試・テスト

● 土曜YT講座（詳細はP.7へ）

● 組分けテスト（詳細はP.7へ）

● 四谷大塚主催 合不合判定テスト

受験者数が最大で13,000名を超える、首都圏最大規模の合格可能性判定模試です。1学期に2回、2学期に4回の年間計6回実施されます。合格判定が出るのは最大6校までで、試験日程ごとに1校ずつの判定となります。試験後の配付資料では、入試日程ごとに志望者数や偏差値別の成績順位などがわかります。Webでも弱点を見抜く学習診断表を確認できますので、同じ学校を志望する受験生と比較して正解すべき問題を知ることができます。帳票についても、四谷大塚で長年蓄積されたデータと最新の入試情報をもとに合格可能性や受験適正校などがわかりやすく示されます。

● 首都圏模試センター主催 合判模試

受験者数は四谷大塚の合不合判定テストに匹敵する模試です。四谷大塚の合不合判定テストと同じく1学期に2回、2学期に4回の年間計6回実施されます。早稲田アカデミーでは、必要と思われる方には個別に受験をおすすめしています。

● SSクラス統一テスト

10月から12月にかけて、月1回SSクラスで授業内に実施するテストです。このテストを通じて思考力・応用力・論理性を高めるとともに、全校舎のSSクラス生で競争することでモチベーションの向上を図ります。

講習会・夏期集中特訓・正月特訓

● 講習会（春期・夏期・冬期）

春期は4月に行われる模試に備えた復習をします。夏期はこれまでの学習内容のなかで、重要な内容の総復習と入試への基礎固めを行います。冬期は入試前の総仕上げや最終チェックを行います。

● 夏期集中特訓

非宿泊型で集中学習を行います。普段とは違う教室（会場）で、ライバルたちと一緒に授業を受ける環境が適度な緊張感を生み、学習に対する意欲と集中力が高まります。自分の力で最後までやり抜いた経験は、大きな自信につながります。

● 正月特訓

入試直前の年末年始の5日間にテスト演習を徹底して実施します。テスト演習を通して今までに学習してきた知識や問題の解法の確認をするのはもちろんのこと、1月からはじまる入試本番を見据えて、1点でも多くの得点を獲得するための総仕上げを行います。

保護者会・イベント

● 保護者会・個別面談

定期的を実施する保護者会では、最新の入試情報や各科目の学習法について、担当講師よりお話をさせていただきます。個別面談では、保護者様と講師でお子様の情報を共有し、成績の向上、志望校や受験校の決定に向けた進路相談を行います。

● 夏フェス

「夏フェス」は毎年大好評をいただいている早稲田アカデミー主催の学校見学会・講演会です。「学校見学会」では、実際に学校へ足を運んで、各中学校の先生のお話や、実際の生徒たちの様子、学校の設備などを確認できます。ご自身の目や耳で実際に確認することで、学校の本当の姿が見えてきます。

● 秋フェス

複数の学校の先生方をお招きし、学校の魅力を直接お話しいただく「秋フェス」の講演会では、学校の特徴を深く知ることによって、お子様に合った学校を探すことができます。

● 中学入試報告会

「中学入試報告会」では、中学入試概況や次年度入試の展望についてお伝えいたします。

早稲田アカデミーの小6難関中学受験対策「NN（何がなんでも）志望校別コース」で指導を行う経験豊富な講師が、科目別の問題分析や傾向について解説いたします。



国語の学習

実戦での得点力養成

いよいよここまで培ってきた国語の力を「得点」へと結び付ける1年間になります。まずは、前期中に『予習シリーズ』をはじめとする教材を用いた通常授業で、どんな学校を受験するうえでも必要な読解力や漢字・言語知識の総復習をしましょう。しかしながら、どんなに幅広く力を身につけても、それがきちんとテスト本番で発揮されなければ無駄になってしまいます。そこで、夏期講習会以降は入試問題も含めたさまざまな問題に触れて経験値を高めていくことで、お子様の持つ力がきちんと答案に発揮されるように仕上げていきます。もちろん、ご自身の志望校については、「NN志望校別コース」やご自宅での過去問演習を通して、その出題傾向をきちんと把握し、合格点を取るための戦略を徹底的に分析・実践していくよう指導します。

漢字・言語知識の総まとめ

中学入試に必要な漢字・言語知識については、既に小5までで全ての範囲を学習しています。したがって、小6で扱うものは全て「復習」になります。とはいえ、まだまだ覚え残したものも多いでしょうから、『漢字とことば』や『四科のまとめ』を利用して、全てを満遍なく扱い、穴のない状態を目指しましょう。特に言語知識については、近年の中学入試において「絶対に出題されない」と言い切れる単元はありませんので、重要度に応じて手厚く学習する単元はあっても、全く扱わずに放置したままにしてしまう単元はつくらないようにしてください。

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

家庭学習用

文章読解(基本問題・発展問題)と言語知識(理解が中心の単元)のメインテキストです。いずれも各回のポイントをまとめた説明ページと、問題演習のページで構成されています。問題演習時は付属の解答用紙に解答します。また、解説時には重要な部分に線を引いたり、余白にメモを書き込んだりしながら理解を深めましょう。

漢字とことば

家庭学習用

漢字と言語知識のサブテキストです。各回漢字の復習問題と、『予習シリーズ』とは異なる言語知識(語彙を広げる単元)で構成されています。テキストや付属の解答用紙に直接書き込みながら取り組み、各週で身につけるべき内容を地道に定着させていきましょう。

演習問題集

授業用

SB・SAクラスで使用する文章読解のサブテキストです。付属の解答用紙に演習してください。

練成問題集

家庭学習用

SB・SAクラスで使用する、文章読解と言語知識学習の補助教材です。各回は例題・基本問題・練習問題・言語知識問題で構成されています。『予習シリーズ』よりも取り組みやすい問題が並んでいますので、毎回の学習内容をしっかりと定着させるのに最適です。

最難関問題集

授業用

SSクラスで使用する文章読解のサブテキストです。開成・桜蔭をはじめとする最難関校の入試問題に対応するための記述力を鍛える教材です。付属の解答用紙に演習しましょう。

四科のまとめ

家庭学習用

春期講習会以降使用する、主に言語知識の総まとめ用教材です。各単元内で、難度に応じてレベルA(易)～レベルC(難)に分類されています。

宿題の進め方

ご家庭では「漢字」「言語知識」「文章読解」にバランスよく取り組んでいただきます。「漢字」「言語知識」は次の授業で確認テストを実施して、定着度を測ります。また、「文章読解」は授業で身につけた読み方・解き方を意識して取り組むことが大切です。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
『漢字とことば』 漢字	共通	その週の2回目となる授業で実施する漢字テストへ向けて、9割以上の得点を目標に取り組みましょう。答えは直接書き込み、解答を見て答え合わせまでしましょう。	40分 程度	合計 120分 程度
『漢字とことば』 言語知識	共通	言語知識ページに取り組みます。答えは付属の解答用紙に記入し、解答を見て答え合わせをしましょう。	20分 程度	
『予習シリーズ』 基本問題	SS	演習・答え合わせ・直しまで行いましょう。『予習シリーズ』は専用の解答用紙に、『練成問題集』は直接解答してください。記述の評価に迷う場合は、担当講師にお任せいただいても構いません。	60分 程度	
『練成問題集』 文章読解・言語知識	SB SA			



算数の学習

入試本番を見据えた段階的な学習

入試までの1年間、使える時間の和はどの受験生も同じですが、合否を分ける要素の一つがその時間の使い方です。数多く受ける模試の結果が出る度に焦りを感じて、「より発展的な問題に取り組まなければ」という気持ちに駆られることもあるでしょう。しかし、算数の力は短期間で飛躍的に向上するものではありません。1年間という時間のなかで、段階的に成長していくものです。早稲田アカデミーでは、受験学年としての1年間、お子様が段階を踏んで、着実に成長できるように指導をしていきます。

まず、小6の1学期は、一部新出の問題も含まれますが、主にこれまでの総復習を行います。『予習シリーズ』(6年上)を用いて、小4・小5の学習内容をより大きな括りで分野別に学習し、解法や知識について確認していきます。また、最も多くの時間が使える夏期講習会でも、再度復習を重ね、中学受験に必要な全分野の解法の定着を目指します。2学期は、解法の定着の確認を引き続き行うとともに、夏までに身につけた解法を用いて、初見の問題や大問形式の問題に多く触れていきます。近年の入試で見られる、文章量の多い問題や複雑な条件を伴う問題であっても、その問題の切り崩し方を指導し、実戦的な力を磨いていきます。

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

授業で使用するメインテキストです。小4・小5までとは異なり、これまでの復習が中心となります。週2回のうち1回目の授業では、主にこれまでの復習にあたる「重要問題チェック」、2回目の授業では、新出内容にあたる「重要問題プラス」や「発展学習」を演習します。直接書き込みはせず、予習シリーズ用のノートに演習しましょう。

演習問題集

家庭学習用

『予習シリーズ』と同様に、小4・小5までとは構成が異なります。基本問題レベルのステップ①、練習問題レベルのステップ②、発展問題レベルのステップ③の3レベル構成となります。『演習問題集』用ノートに式や図をかくて演習しましょう。

シリーズ計算

家庭学習用

算数の基礎となる計算練習を行うための家庭学習用教材です。直接テキストに書き込んで演習することを標準としますが、式や筆算を書くスペースを広くとりたい場合は、ノートに演習してもかまいません。

四科のまとめ

家庭学習用

SB・SAクラス向けの家庭学習用教材です。中学受験に向けて必要な全分野の基本問題をまとめた教材です。『演習問題集』と合わせて、毎週の宿題のページを担当講師より指示します。こちらもノートに演習しましょう。

最難関問題集

授業用

一部の最上位クラスで使用するハイレベルな教材で、難関中の入試問題を中心に掲載しています。短時間で処理したり、正解が必須であったりする問題集ではありません。じっくりと1題に向き合って、自分なりに筋道を立てながら解き進める経験を積むための教材です。

宿題の進め方

早稲田アカデミーでは、『予習シリーズ』をメイン教材として使用し、新出内容の導入と重要な問題の演習を行います。宿題の位置付けはその復習です。宿題では主に『演習問題集』を使用し、授業内で扱った問題の数値替えや類題に取り組みます。授業で習った通りの方法を自ら実践することができるかを確認しましょう。わからない問題は付せんを貼るなど、次回の授業時に質問できるようにしておくとい良いでしょう。また、そのほかに『シリーズ計算』で算数の基礎となる計算力の強化を図りましょう。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
復習	共通	計算テスト・確認テストの間違い直しと、授業内で間違えた問題の解き直しを復習用ノートに実施します。	30分 ×2日	合計 240分 程度
『演習問題集』	SS	ステップ②③から宿題を出します。	110分	
	SB	ステップ①②から宿題を出します。	60分	
	SA	ステップ①から宿題を出します。	60分	
『四科のまとめ』	SB・SA	指定された問題をノートに演習しましょう。	50分	
『シリーズ計算』	共通	できるかぎり1日1ページずつ取り組みましょう。直接書き込んで演習しましょう。	10分 ×7日	



社会の学習

入試本番に向けた知識事項の定着強化と解答能力の養成

入試で合格点が取れる力を付けることが、小6の学習における最終目標です。そのためには、知識事項を身につけることと解答能力を磨くことの二つを意識して取り組むことになります。知識事項については、公民を中心に新出単元が残っているうえ、小5までに学習した地理や歴史についても、現時点で入試問題がスラスラ解けるレベルには達していないはずです。新出単元の内容を身につけながら、これまでの学習内容について定着が不十分な部分を補強し、知識事項に関してはできる限り全般的に抜けのない状態をつくらなければなりません。一方、入試問題には、長い問題文を読んで文脈からヒントを見つける、統計資料や地図を読み解く、選択肢の正誤判定を行う、理由や自分の考えを文章にまとめる、などいろいろなタイプが存在します。解答能力を磨くという点では、どのような問題にも対応できるよう実戦形式の問題演習を行い、経験値を高め、「慣れる」ことが重要です。2学期からの学習で志望校の過去問を含めた実戦的なトレーニングに本腰を入れて取り組めるよう、夏休みが終わるまでに知識事項の定着を心掛けるようにしましょう。

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

家庭学習用

第1回～14回では、歴史・政治・国際社会といった新出単元を中心に、第15回～18回は歴史の復習単元を取り扱います。

練成問題集

家庭学習用

宿題として扱う演習用教材になります。「トレーニング」「基本問題」「練習問題」で構成され、クラスによって扱う問題は異なります。

演習問題集

家庭学習用

『予習シリーズ』の単元に合わせた演習用教材になります。「まとめてみよう!」「練習問題」「発展問題」で構成され、クラスによって演習する問題は異なります。主に宿題として扱います。

四科のまとめ

家庭学習用

これまでに学習してきた3分野の基本事項がわかりやすくまとめた教材です。夏以降に本格的に取り組むことで基本的な知識の定着をはかります。

考える社会科地図

授業用

家庭学習用

主に第6回以降の地理・歴史の復習で使います。一度理解したつもりでも忘れてしまったり、演習を通じて新たに出てきた地名や地形などを確認します。

歴史の資料

授業用

家庭学習用

主に第1回～2回、第15回～18回の歴史の学習で積極的に扱います。

宿題の進め方

『予習シリーズ』で学習した内容を『演習問題集』と『練成問題集』を使って復習します。クラスによって扱う問題は異なりますが、いずれも知識事項の整理と実戦形式の問題を解き進めることで解答能力の向上を図ります。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
『演習問題集』	SS	付属の解答用紙を切り離して、「まとめてみよう!」「発展問題」に取り組みましょう。	80分 程度	合計 120分 程度
	SB SA	付属の解答用紙を切り離して、「まとめてみよう!」「練習問題」に取り組みましょう。		
『練成問題集』	SS	「基本問題」「練習問題」に取り組みましょう。	40分 程度	
	SB SA	「トレーニング」「基本問題」に取り組みましょう。		



理科の学習

正確な知識の定着と原理・原則の理解

最近の入試問題では、身近な事柄から専門性の高い実験に至るまで、さまざまな内容が幅広く出題されています。出題形式も多様で、記号選択問題や計算問題を多く出題する学校もあれば、記述や作図が中心の学校もあります。このような現状を踏まえ、小6は「入試に向けた実践的な力を身につけていくこと」を目標に学習を進めていきます。実践的な力という難しい問題をたくさん解かなければいけないのかと思いますが、そうではありません。「正確な知識を身につけること」、「原理・原則から考えること」が実践的な力を伸ばすための大きなポイントです。小4・小5では毎週のように新出単元を扱ってきたため、例えば化学薬品や植物の特徴などで細かい部分までしっかりと復習する時間がとれず、知識が曖昧なままになっていることがよくあります。また、水溶液や電流の計算問題の解法に関しても、演習を重ねて定着を図るような学習はなかなかできなかったはず。入試に向けた総復習を行う小6では、今までの学習内容をなぞるだけでなく、一歩踏み込んだ学習を進めていくことが大切です。「正確な知識」は初見の実験問題を解くときのヒントになり、「原理・原則から考えること」は考察問題や記述問題を解くうえで、大きな力になります。入試に向けて一段階上の学習を意識していきましょう。

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

家庭学習用

単元のまとめを学習するためのメインテキストです。中学入試でおさえておくべき内容を、写真や図を交えてまとめているため、参考書のように使うことができます。入試で出題されることのある発展的な内容が一部追加されているところもあります。総合回以外の各回には、実験器具についてまとめたページが入ります。

演習問題集

授業用

家庭学習用

単元回は「基本問題」「練習問題」「発展問題」で構成されています。中学入試で出題される典型的な問題の多くが載っています。クラスによって扱う問題は異なります。

練成問題集

家庭学習用

家庭学習用の演習教材です。単元回は基礎的な知識を確認する「トレーニング」と標準的な内容の「基本問題」、より実践的な内容の「練習問題」、実験器具について確認する問題で構成されています。

マスターテキスト知識編

授業用

家庭学習用

書き込み式で知識をまとめる教材です。小4から学習してきた理科の知識が網羅的にまとまっています。まとめの欄外にはポイントの解説も載っています。授業で簡単なチェックを行います。

マスターテキスト演習編 (スタンダード)

家庭学習用

入試でよく取り上げられる計算問題を中心に扱う演習用教材になります。ひとつのテーマに関して例題・類題に分かれ、より深い定着を図ることができる構成になっています。

理科の基本事項

授業用

家庭学習用

赤フィルムを使って知識と簡単な記述を確認する暗記用教材です。指定された範囲の暗記が宿題になり、授業で確認テストを実施します。

宿題の進め方

『理科の基本事項』の確認テストに向けた学習、『マスターテキスト知識編』の穴うめ、『練成問題集』の実験器具、『演習問題集』と『マスターテキスト演習編(スタンダード)』から指定された問題が宿題になります。扱う問題はクラスによって異なります。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間
『演習問題集』	共通	基本問題と練習問題の中から指定された問題が宿題になります。途中式まで含め、ノートに演習します。計算や知識の他、解法と考え方を確認します。	30分程度
『練成問題集』	共通	直接書き込みで行います。実験器具について確認する問題が宿題になります。	10分程度
『理科の基本事項』の暗記	共通	今回の授業で行われる確認テストに向けて指定された範囲を学習します。	20分程度
『マスターテキスト知識編』	共通	指定された部分の穴うめが宿題になります。内容をしっかりと確認しながら穴うめしていきます。	30分程度
『マスターテキスト演習編(スタンダード)』	共通	指定された部分の演習が宿題になります。身につけた解法を使用しながら取り組みましょう。	30分程度
			合計 120分程度

土曜YT講座（2月～7月必修）・組分けテスト（3・5・6月必修）

繰り返し復習することで、しっかり定着させる

「予習シリーズ小6・上」の各回は、より実戦的な、総合的な内容になります。小5までのカリキュラムテストは隔週での実施でしたが、小6前期は「週テスト」として毎週実施されます。これまでよりも密度高く復習の機会をつくることで、知識や解法のさらなる定着を図ります。「土曜YT講座（週テスト）」では、その週に学習した内容に加え、前週に学習した内容の復習問題も出題されます。

目標は5週に1度の「組分けテスト」

5週に1度、直前1か月の学習内容を試験範囲とした「組分けテスト」が実施されます。「週テスト」と異なり、問題のレベルは1種類です。全員が同じ問題を解き、その結果によって、次の1か月、どのレベルの「週テスト」を受験するかが決まります。また、通常授業のクラス分けも、原則、この「組分けテスト」の結果をもとに行われますので、生徒たちにとっては極めて重要な意味を持つテストです。「週テスト」を活用して実力を高め、1つでも上のコース・クラスを目指しましょう。

●コース別在籍割合・組数〈小6・一例〉

コース	割合	組数
Sコース4科	8%	1組～9組
Cコース4科	23%	1組～26組
Bコース4科	36%	1組～39組
Aコース4科	33%	1組～37組

※「週テスト」の問題は学力別に上位からS・C・B・Aの4つのコースに分かれており、土曜YT講座受講生は組分けテストの結果によって定められたコースのテストを受験します。
※コースごとの在籍の割合は概ね一定ですが、組数については、組分けテストごとに（人数によって）異なります。

タイムテーブル例（前期）

13:30～13:35	13:35～13:55	13:55～14:15	14:15～14:25	14:25～15:15	15:15～16:05	16:05～16:10	16:10～16:30	16:30～16:50	16:50～16:55
受験登録	社(理)テスト (20分)	理(社)テスト (20分)	休憩	国(算)テスト (50分)	算(国)テスト (50分)	休憩・移動	解説授業①*	解説授業②*	解答解説配布

※「土曜YT講座」では、テスト終了後すぐに、テスト時間が長く配点も高い国語と算数の解説授業を実施します。家に帰ってからではなく、まだ解いたときの記憶が鮮明なうちに解説を聞くことで、お客様の理解を深めることができます。

年間予定表 ※下記日程は変更になる可能性があります

【前期】																							
実施日	1/25 (日)	2/14 (土)	2/21 (土)	2/28 (土)	3/7 (土)	3/15 (日)	3/21 (土)	4/12 (日)	4/18 (土)	4/25 (土)	5/10 (日)	5/16 (土)	5/23 (土)	5/30 (土)	6/6 (土)	6/7 (日)	6/14 (日)	6/20 (土)	6/27 (土)	7/5 (日)	7/11 (土)	7/18 (土)	
種類	◆	●	●	●	●	◆	●	合不合	●	●	◆	●	●	●	●	★	◆	●	●	合不合	●	総合回	
主な 出題内容	—	上 第1回	上 第2回	上 第3回	上 第4回	四谷大塚主催の各種テストの日程が 確定し次第、追って公開いたします。											—	上 第14回	上 第15回	上 第16回	—	上 第17回	上 第18回
【後期】																							
実施日	8/29 (土)	9/6 (日)	9/12 (土)	9/19 (土)	9/26 (土)	10/3 (土)	10/10 (土)	10/17 (土)	10/24 (土)	10/31 (土)	11/7 (土)	11/14 (土)	11/21 (土)	11/28 (土)	12/5 (土)	12/6 (日)	12/12 (土)	12/19 (土)	1/9 (土)	1/16 (土)			
種類	●	合不合	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	合不合	●	●	●	●			
主な 出題内容	下 第1回	—	下 第2回	下 第3回	下 第4回	下 第5回	—	下 第6回	下 第7回	下 第8回	—	下 第9回	—	下 第10回	下 第11回	—	下 第12回	下 第13回	下 第14回	下 第15回			

種類：●…通常回（4科目/2科目） ◆…組分けテスト（4科目/2科目） ★…全国統一小学生テスト
※合不合判定テストは必修テストのため、別途のお申し込みは必要ありません。

四谷大塚主催の各種テストの日程が
確定し次第、追って公開いたします。

入試過去問題演習

早稲田アカデミーでは、入試過去問題演習を
9月からスタートさせます。

目的

「受験予定校の過去問を解く」ことは非常に大切です。次の3つの点を踏まえ、過去問に取り組んでください。

①入試問題の傾向をつかみましょう。

どのような分野が重視され、どのような解答形式を求められているのかを知ることが大切です。これにより、入試当日の解き方に役立てるためという意味以上に、入試までの期間の学習バランスやポイントを絞り込むうえで、効率的に「受験勉強」を進めることができます。

②時間配分の感覚をつかみましょう。

入試問題を余裕を持って解くことは、実際にはかなり難しいことです。学校にもよりますが、総じて合格最低点は6割～7割といったところが多いです。全てを解こうとすると、逆に空欄をつくってしまうこともあるので、解かなくてはいけない問題と、難しくて後回しにすべき問題をしっかりと見極めることが大切です。また、全体の分量や問題配置の仕方、題材の文章の長さ、設問・選択肢の設定などもきちんと分析・理解しておきましょう。

③解法の技術を磨きましょう。

過去問は「過去」という言葉の通り、すでに出題されたものですから、全く同じ問題が次年度に出題される可能性は高いわけではありません。しかし、それぞれの学校特有の傾向は継続されます。過去問演習を通して、学校の特徴をつかみ、それぞれの学校に応じた解き方の対策を行う必要があります。

過去問題演習の流れ

9月のはじめから1月の最終週までにおおよそ20週の期間があります。いつ、どの学校の、どの年度の、どの科目を実施するのかというスケジュールについては、各校舎にご相談ください。なお、NN志望校別コースが管理する年度の過去問については、事前に実施スケジュールをお伝えします。

9月の第1週の授業で、過去問演習に関するオリエンテーションを実施します。家庭学習として実施した過去問は、校舎よりお配りする『過去問演習進行表』とともに、翌週の初回授業で授業担当の講師に提出してください。4科目の担当講師が実施した過去問の内容をチェックし、預かった翌週の初回授業で返却します。このため、2回目の過去問提出時から、実施した過去問の提出と、チェックされた過去問の返却を同時に行います。

注意点

過去問演習をより効果的なものにするために、次の点に注意して演習を進めます。詳しくはオリエンテーションでお伝えいたします。

- ①市販の問題集を購入して演習します。解答用紙については、特に記述問題の多い国語はできる限り原寸大の大きさに実施してください。また、Web上で過去の入試問題を公開していたり、窓口で販売していたりする学校があります。実物が手に入るのであれば、できるだけ実物で演習をしてください。
- ②時間を計り、テスト形式で実施します。「時間配分の感覚」をつかむために必要です。
- ③必ず丸付けと復習・解き直しをします。間違えてしまった問題は、その原因までしっかりと考え、次回の演習に役立てます（国語の記述問題など、自分で○×の判断がつかないものは、そのまま提出してください）。
- ④自力で解決できなかった問題は、必ず担当講師まで質問してください。

NN志望校別コースで管理する過去問演習

NN志望校別コースでは、クラスによって対象校の過去問の特定の年度が宿題になります。NN志望校別コースから課された過去問については、校舎に提出する過去問演習とは別にNN志望校別コースが管理します。各NNクラスからの指示に従い、決められた期日までに各NNクラスの担当講師に提出してください。

早稲田アカデミーSSクラス統一テスト

SSクラス生が対象の実戦的な模試形式のテストで、カリキュラムの一貫として実施します。

科目ごとに通常のSSクラスで学習している内容の定着度合いを確認することに加えて、初見問題への対応力を測る問題も出題されます。さらに理科・社会では来春入試での出題が予想される時事問題などにも取り組みます。全校舎のSSクラス生と競争することで、第一志望校合格へ向けての現在の立ち位置や課題を発見してください。

模擬試験の受け方

模擬試験を受ける意味

模擬試験は実際の入試に向けた練習の場、確認の場であり、極端な言い方をすれば、「失敗を経験する場」です。失敗の原因を考え修正し、入試本番に備えるための重要な機会です。模試を受験することは次の点で大きな意味があります。

- ①目標の設定 次の模試に向けて課題の克服を図り、試験にむけた学習法、学習サイクルを確立させていきます。
- ②試験の練習 試験会場での緊張感、初見の問題を前に時間配分を考える練習など、通常の授業や家庭学習では経験できないものです。
- ③課題の把握 うまくできなかったときの原因分析、間違えた問題の解き直しなど、どうすれば良いのかという課題が見えてきます。

合格可能性の数値は、多くの模試で80%が上限値として設定されています。この「合格可能性80%」は、同じ成績の受験生の5人中4人が合格するという意味です。仮に、想定される合格最低点と同じ得点の場合は、2人に1人が合格という意味の50%と示されます。判定が高いに越したことはありませんが、「80%」という数値にこだわりすぎるよりも、「50%」という数値をひとつの目標において頑張ることが大切です。

模擬試験の種類と選択

総合模試(客観式模試)

四谷大塚「合不合判定テスト」や、首都圏模試センター「合判模試」、サピックス「合格力判定サピックスオープン」、日能研「合格判定テスト」などです。いずれかの中学校の出題傾向・形式に絞るのではなく、一般的な問題と解答形式による総合力判定のための模試で、受験したい中学校の合格可能性がパーセンテージで示されるので、受験校選択の目安として活用できます。

学校別模試

「開成中オープン模試」のように、一つの学校に絞り、問題傾向や難度、時間まで、全てそっくりの形式で実施されるものです。早稲田アカデミー「NN志望校別オープン模試」、四谷大塚「学校別判定テスト」、サピックス「学校別サピックスオープン」などがあります。もちろん、その対象となる中学校の受験を考えている生徒のみが受験するものです。

総合模試はひとつの模試を継続して受験することが大切です。どの科目においても全ての単元からの出題を1回に盛り込むのは不可能で、単元内容は各回に分散して出題されます。複数回を受験することで、満遍なく自分の力を測ることができるのです(逆に考えれば、1回の模試が悪かったからといって、それで「総合力がない」と判断する必要はありません。)学校別の模試は、志望校の模試があれば受験を強くおすすめします。上手に活用すれば、学校別オープン模試の受験は、その学校の過去問1年分を解くよりも価値があります。できるだけ積極的に受験してください。なお、NN志望校別コース設置校の学校別オープン模試については、受験していただきたい模試について各NNクラスよりご説明いたします。

実施される模擬試験

●四谷大塚主催 合不合判定テスト

首都圏最大規模の合格可能性判定模試で、早稲田アカデミー小6生の必修テストです。最新の入試傾向を反映した問題が出題され、また、長年蓄積されたデータをもとに合格可能性や受験適正校などが示されます。

●首都圏模試センター主催 合判模試

合不合判定テストに匹敵する数の小6生が受験する合格判定模試です。早稲田アカデミーにおいては、必修テストではないので別途の申込が必要です。合不合判定テストより解きやすい問題が中心で、合格判定を行える学校の裾野が広いことが特徴です。

●NN主催模試

御三家や早慶附属中など、NN志望校別コースを設置している最難関校のそっくり模試兼入会資格審査です。出題傾向はもちろん、解答形式まで本番同様です。その学校の志望者内での順位や偏差値、正答率などを確認することができます。

●四谷大塚主催 学校別判定テスト

四谷大塚が主催するそっくり模試です。NN志望校別コースでは、イベントや授業日程の関係から受験はすすめていません。NN設置校以外の志望校のテストが実施される場合には、受験をしても良いでしょう。

●サピックス主催 学校別サピックスオープン

サピックスが主催するそっくり模試です。そっくり模試としての規模が大きいため、NN志望校別コースでは、クラスによって受験をすすめています。NN設置校以外にも志望校のテストが実施される場合には、受験をしても良いでしょう。

前期カリキュラム

2月～7月(全18回)

	国 語		算 数
第 1 回	物語・小説 (1)／出会いと別れ	一文を正確に読む①／和語①	和と差の文章題
第 2 回	物語・小説 (2)／個性と葛藤	一文を正確に読む②／慣用句①	数と規則性 (1)
第 3 回	説明文・論説文 (1)／自然と環境	細部の文脈① 指示語／三字の熟語①	平面図形 (1)
第 4 回	説明文・論説文 (2)／科学と文明	細部の文脈② 接続関係／四字の熟語①	容器と水量・変化とグラフ
第 5 回	総合		総合
第 6 回	随筆文 (1)／日本と世界	イコールの関係① 抽象と具体／和語②	速さ (1)
第 7 回	随筆文 (2)／言葉と生活	イコールの関係② 換言／慣用句②	平面図形 (2)
第1回 合不合格判定テスト			
第 8 回	物語・小説 (3)／挫折と再生	イコールの関係③ 比喩／ことわざ	場合の数
第 9 回	総合		総合
第10回	随筆文 (3)／記憶と人生	対比の関係① 逆接／外来語	割合と比の文章題
第11回	物語・小説 (4)／家族と友人	対比の関係② 比べる／慣用句③	立体図形 (1)
第12回	説明文・論説文 (3)／暮らしとテクノロジー	因果関係① 順接・理由説明／三字の熟語②	平面図形 (3)
第13回	説明文・論説文 (4)／人間と社会	因果関係② 〈因果関係〉の文脈／四字の熟語②	数と規則性 (2)
第14回	総合		総合
第15回	詩・短歌・俳句	単語の学習① 助動詞の総復習／故事成語	速さ (2)
第16回	説明文・論説文 (5)／日本語と私	単語の学習② 助詞の総復習／類義語	立体図形 (2)
第2回 合不合格判定テスト			
第17回	物語・小説 (5)／生と死	敬語／対義語	論理・数の操作
第18回	総合		総合

	社 会	理 科
第 1 回	現代史 (1)	植物
第 2 回	現代史 (2)	地球・太陽・月
第 3 回	日本国憲法の三大原則	電気・磁石
第 4 回	国会のはたらき	水溶液
第 5 回	総合	総合
第 6 回	内閣と裁判所	恒星・惑星
第 7 回	国と地方の政治	光・音
第1回 合不合格判定テスト		
第 8 回	社会保障と財政	燃焼・熱
第 9 回	総合	総合
第10回	世界のすがた	動物
第11回	国際連合と紛争	地層・火山・地震
第12回	現代の日本と世界 (1)	運動・てこ
第13回	現代の日本と世界 (2)	気体・金属
第14回	総合	総合
第15回	政治・外交史 (1)	ヒト
第16回	政治・外交史 (2)	気象
第2回 合不合格判定テスト		
第17回	政治・外交史 (3)	滑車・ばね・浮力
第18回	総合	総合

※こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

第1回

国語

● 物語・小説(1)／出会いと別れ

学習内容 ■ 出会いと別れ

文章読解は、これまでの「文種別」の視点から、「テーマ別」の視点を中心とした学習になります。この回は「出会い」と「別れ」を通じた登場人物の成長をテーマにした作品に触れます。

● 一文を正確に読む①／和語①

学習内容 ■ 主語・述語関係を読み取る
■ 修飾・被修飾関係を読み取る
■ 和語を身につける

「主語・述語・修飾語」に関する知識を総復習し、長く難解な文でも意味の中心を的確に捉える練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、「和語」を学習します。近年の中学入試では頻出の単元ですから、さまざまな語彙を幅広く身につけましょう。

算数

● 和と差の文章題

学習内容 復習内容 ■ 和差算 ■ 平均
■ つるかめ算 ■ 差集め算
■ 消去算 ■ 年令算
新出内容 ■ 集合算

これまでに学習してきた和と差の文章題の復習を行います。3量のつるかめ算やいもづる算、差集め算は発展的な問題も多く、差のつきやすいテーマなので重点的に確認します。

また、新出の内容として集合に関する問題を学習します。問題の条件をベン図や表に整理して、問題の条件に適合する数を求める問題です。問題の条件を正確に把握するのは中学受験の算数において重要な力の一つです。

社会

● 現代史(1)

学習内容 ■ 戦後の民主化 ■ 戦後の世界
■ 日本の独立と国際社会への復帰

「日本の民主化」を「政治の民主化」「経済と社会の民主化」「日本国憲法の成立」に分けて学習します。また、「政治の民主化」では「軍隊の解散」「天皇の人間宣言」「治安維持法の廃止」「男女平等の普通選挙の実施」について確認していきます。「経済と社会の民主化」では「財閥解体」「農地改革」「労働者の権利」「教育の民主化」について理解を深めましょう。「憲法制定」では三大原則について学習しますが、軽く触れる程度で詳しくは第3回以降の「公民」で学習します。

戦後の世界では「冷たい戦争」については、アメリカ・ソ連の動きや「ベルリン封鎖」「朝鮮戦争」「ベトナム戦争」の流れ、さらに「日本の独立」を見ていきます。特に「朝鮮戦争」は日本への影響も重要です。

理科

● 植物

学習内容 ■ 植物の分類とつくり ■ 植物の成長
■ 植物のはたらき ■ 植物と環境
■ 実験器具（実験室のきまり）

植物の分類を学習してから、からだのつくり、発芽の仕方、光の強さと成長の仕方、光合成・呼吸・蒸散作用、森林、光や温度と植物の関係などを学習します。

今までに学習した植物の総まとめとなるので、数多くの知識を復習していきます。定着できているものとできていないものをしっかりと分析し、時間をかけて定着度の向上をはかることが重要です。

第2回

国語

● 物語・小説(2)／個性と葛藤

学習内容 ■ 個性と葛藤

「葛藤」は中学入試の物語・小説における頻出テーマの一つです。この回では、「個性と協調性」の間で「葛藤」する登場人物の心情変化を丁寧に読み取りましょう。

● 一文を正確に読む②／慣用句①

学習内容 ■ 〈大きな意味のまとまり〉を捉える
■ 慣用句を身につける

第1回で復習した文節の知識を文章読解に活かすことを実践します。

また、『漢字とことば』では、「慣用句」を学習します。文章読解にも通じる大切な単元ですから、一つひとつを着実に覚えましょう。

算数

● 数と規則性(1)

学習内容 復習内容 ■ 植木算
■ 周期算 ■ 数列
■ 数表
新出内容 ■ 日付と暦に関する問題

規則性はその解き方次第で得点差のつきやすい分野です。答えが1ずれたという経験は多くのお子様にあるのではないのでしょうか。その「ズレ」も防ぐ方法こそが解法です。特に群数列や数表、新出テーマとなる日付や暦に関する問題などは、正確に答えにたどり着くための手順を身につけているか否かで大きな差が生まれます。答えが合っているかどうか不安が残る解き方をくり返すのではなく、正しい解き方、正しい手順を身につけましょう。

社会

● 現代史(2)

学習内容 ■ 経済の成長 ■ 石油危機後の日本経済
■ 昭和から平成へ ■ 平成そして未来へ

おもに、昭和時代の後半から平成時代までを取り扱います。戦後の復興の時代から経済成長の時代へ、高度経済成長期における日本国内のイベント（オリンピックや東海道新幹線の開業）や公害問題といった角度から学習していきます。そして、第一次石油危機後の日本経済の様子についても学習をします。「円高」や「バブル経済」といった日本経済の転換点ともいえる出来事がなぜ起こったのかを確認することに加え、平成時代のおもな出来事について触れることで、昭和から平成にかけての時代の全体像を掴みます。

理科

● 地球・太陽・月

学習内容 ■ 地球 ■ 太陽
■ 月 ■ 実験器具（物質を分ける装置）

地球の形や大きさ、大気や対流のようす、緯度や経度、地球上の各地点での時刻や方位、時差、太陽のようす、太陽の日周・年周運動、太陽の南中時刻、日影曲線、世界各地での各季節での太陽の動き、月の満ち欠け、月の公転周期と満ち欠け周期のちがい、日食と月食、潮の満ち干などを学習します。

知識の定着とともに、図が意味することをしっかりと理解することが重要です。

国語

● 説明文・論説文(1)／自然と環境

学習内容 ■ 自然と環境

「自然と人間」はもはや定番のテーマですが、ここでは「共生・共存」がキーワードになります。また、近年は「環境問題」について、時事的な話題を扱った作品もしばしば出題されますので、新聞やニュースなどを通じて最低限の知識を身につけておく必要もあります。

● 細部の文脈① 指示語／三字の熟語①

学習内容 ■ 指示語の読み取り方を身につける
■ 三字の熟語についての知識を深める

「指示語」は一貫した手順に則って処理する習慣づけが大切です。また、『漢字とことば』では、「三字熟語」について学習します。聞き慣れない語彙も登場するでしょうから、意味も含めて丁寧に確認しましょう。

算数

● 平面図形(1)

学習内容 復習内容 ■ 角度 ■ 円とおうぎ形
■ 多角形の求積 ■ 求積の工夫
新出内容 ■ 反射

比を伴わない平面図形の問題を復習します。小4や小5前半で学習した内容が中心となり、難度は標準的なものが中心です。ただし、問題の種類が多いため、解いた経験の有無も得点に影響しやすい問題が多く含まれます。

新出の反射の問題は平面図形に分類される問題もあれば、数の性質と結びつく場合もある難関中でよく見られるテーマの一つです。理科の光の作図に似た解法を用いることになりますが、一度は経験しておきたい問題です。

社会

● 日本国憲法の三大原則

学習内容 ■ 日本国憲法の特徴
■ 日本国憲法の三大原則

日本国憲法が制定されるまでの流れを学習し、さらに憲法の特徴を大日本帝国憲法と比較しながら学習します。国民主権を天皇の地位や国事行為とあわせて理解しましょう。

また、「優すことのできない永久の権利」「公共の福祉」「濫用の禁止」などから基本的人権の位置付けを考え、さまざまな人権について細かく分類しながら覚えていきましょう。

平和主義を憲法の前文や第9条をもとに学習し、さらに「平和主義と自衛隊」についても押さえることが大切です。ここでは「文民統制」や「PKO協力法」についても扱います。

理科

● 電気・磁石

学習内容 ■ 電流と抵抗 ■ 電流と磁界
■ 実験器具（電流の大きさを調べる器具）

豆電球の回路と電流の関係、特殊な回路、水流モデル、オームの法則、発光ダイオード、磁力と磁界、電磁石、ブザー、モーター、手回し発電機、電力、発熱などについて学習します。

回路の各部分にどれだけの電圧がかかるのかをイメージするために水流を使用する方法を使います。新しい方法ではありますが、イメージが強固になりますのでしっかりと確認するとよいでしょう。

国語

● 説明文・論説文(2)／科学と文明

学習内容 ■ 科学と文明

中学入試では、「科学」のあり方や、それによって人間が築き上げた「文明」を批判的に論じた難度の高い作品からの出題も散見されます。こうした抽象的で高度な作品にも読み慣れておく必要があります。

● 細部の文脈② 接続関係／四字の熟語①

学習内容 ■ 「七つの接続関係」を使いこなす
■ 四字の熟語についての知識を深める

「順接・逆接・並立・添加・説明・選択・転換」という「七つの接続関係」に関する知識を、文章読解に活かすトレーニングを重ねます。

また、『漢字とことば』では、「四字熟語」を学習します。漢字で正確に書けるように、実際に書きながら覚えましょう。

算数

● 容器と水量・変化とグラフ

学習内容 復習内容 ■ 水量と容積 ■ 水量の変化とグラフ
■ おもりを沈める ■ 辺を軸に傾ける
新出内容 ■ 1点を中心に傾ける
■ 階段グラフ

水量に関する問題を復習します。水量の問題では容器に水を注ぐときの水深の変化を示すグラフの問題や、おもりを沈める問題など、さまざまなパターンが見られます。いずれも入試問題の後半に配置されることが多く、難度が高めのテーマの一つといえるでしょう。まずはこれまでに学習したことへの復習に力を入れましょう。

また、タクシーの運賃や、ガス料金のシステムなど、これまでに経験したことのないグラフを描く問題にも触れていきます。

社会

● 国会のはたらき

学習内容 ■ 国会の地位やしき ■ 政党政治
■ 選挙制度

国会を「地位」「二院制」「種類」「運営・流れ」「仕事」「衆議院の優越」とさまざまな角度から学習します。また、単に用語の暗記ではなく二院制の長所や短所、衆議院に優越が認められている理由など掘り下げていきます。

「政党とは何か」「政党の役割は何か」「政党政治の課題は何か」など政党政治についても詳しく確認していきます。

選挙制度は近年変化しています。議員定数の是正、ネット選挙の解禁、そして選挙で投票できる年齢が18歳以上に引き下げられました。このように変化している選挙制度の基本を押さえましょう。

理科

● 水溶液

学習内容 ■ 水溶液の性質 ■ 水溶液の中和
■ 実験器具（電気をつくるもの、ためるもの）

水溶液の定義、各気体・液体・固体の性質、濃度計算、密度、におい、液性、電解質・非電解質、中和の仕組み、中和の計算などについて学習します。

化学系の問題は、正確な知識の定着を要する問題や、式や図などを用いて内容を要約しながら解き進める問題など多岐にわたります。まずは各物質の特徴をしっかりと定着し、分類できるようにすることが重要です。そのうえで、典型的な計算問題の解法を身につけ、答えまでの流れを自分でかくことができるようにしていくとよいでしょう。

国語

● 随筆文(1)／日本と世界

学習内容 ■日本と世界

「日本⇄外国」という比較文化論では、対比を意識しながら読み進めることが重要です。さらに、この回ではグローバル化する「世界」の中での「日本」という視点も扱います。

● イコールの関係① 抽象と具体／和語②

学習内容 ■抽象⇄具体を読み分ける
■和語を身につける

「抽象的な意見⇄具体例」という観点で文章情報を整理するトレーニングを重ねます。

また、『漢字とことば』で学習する「和語」は、意味だけでなく、例文とともに「どのような言い回しで用いるのか」も身につけましょう。

算数

● 速さ(1)

学習内容 復習内容 ■速さの3公式 ■速さとグラフ
■旅人算 ■速さと比
■旅人算と比
新出内容 ■運転間隔の問題

速さ・時間・道のりを求める速さの初歩の復習から始まり、比を伴う問題まで、幅広く復習します。なかでも比を伴う旅人算の問題では、線分図やダイヤグラムの使い方、かき方を改めて指導していきます。

新出の運転間隔の問題は旅人算と比の問題の応用にあたります。一部のように図で示すことで、処理自体を単純化することができます。しっかりと解法手順を身につけましょう。

社会

● 内閣と裁判所

学習内容 ■内閣 ■裁判所
■三権分立

内閣の地位やしきみを国会と結び付けて議院内閣制をはじめとする重要な内容を理解しましょう。また、各省庁を中心に行行政のしくみを学習しますが、単にしきみを知るだけでなく、行政権の拡大や課題、そして行政改革の内容も考えるようにします。

公正な裁判を行うためのしくみは「司法権の独立」「裁判の種類」「裁判所の種類と三審制」などさまざまな角度から押さえることが大切です。また、国民の司法参加としての裁判員制度も確認します。

独裁政治を防止するための三権分立のしくみを学習するとともに、三権と国民の関わりも正確に覚えるようにしましょう。

理科

● 恒星・惑星

学習内容 ■星座と星 ■太陽系の星
■実験器具（加熱に使う器具①）

星の等級や色、各季節の星座、北天や南天の日周運動と年周運動、世界各地の星の動き、黄道十二星座、星座早見、星の種類、太陽系惑星、彗星などを学習します。

星の動きや満ち欠けのようすなどは、記載されている図を理解していくことが定着の早道となります。問題によく出題される知識が定着してきたら、実際に図をかいてみながら動き方の特徴や、角度などについて考えてみるとよいでしょう。

国語

● 随筆文(2)／言葉と生活

学習内容 ■言葉と生活

「言葉」もまた中学入試における頻出テーマの一つです。この回では私たちの「生活」の中での「言葉」のあり方について論じた作品を扱います。

● イコールの関係② 換言／慣用句②

学習内容 ■換言の関係を見抜く
■慣用句を身につける

前後が「換言」の関係にあることを見抜く視点は、文章情報を整理するうえではもちろんのこと、同意表現をさがす抜き出し問題や言い換えを求める記述問題にも生きてきます。

また、『漢字とことば』では、第2回に続けて「慣用句」を学習します。

算数

● 平面図形(2)

学習内容 復習内容 ■相似の利用
■辺の比と面積比 ■直角三角形と相似
■図形の折り返し
新出内容 ■影に関する問題

小5下で学習した平面図形と比全般の総復習を行います。相似と面積比、高さの等しい三角形の面積比など、長さの比や面積を求める基本ツールを確認したうえで多くの問題に取り組みます。

また、新出事項として、影に関する問題を学習します。相似の応用問題にあたるテーマです。発展していくと立体図形の影など、出題内容の領域が広いテーマではありますが、今回学習するのは初歩にあたる問題です。基本的な解法手順を理解しましょう。

社会

● 国と地方の政治

学習内容 ■三権の確認 ■選挙制度の確認
■地方自治

第3回～6回で学習した「国会」「内閣」「裁判所」「三権分立」を主権者の立場から学習し、より理解を深めます。お子様にとっては馴染みの薄い「政治」の学習をこの時期にさらに繰り返すことによって大きな成果が得られます。

また、選挙に関して「一票の格差」「政治への関心の低さ（低い投票率）」など主権者側からの問題点を見て、選挙に関する知識の定着を図ります。

地方自治については、「民主主義の学校」といわれるように身近な政治として理解することを目指します。地方の政治と国の政治とを比較しながら、「政治の学習」全般をまとめましょう。

理科

● 光・音

学習内容 ■光 ■音
■実験器具（加熱に使う器具②）

平行光線と拡散光線、光源の大きさと物体の影のでき方、ピンホールカメラ、鏡の反射の法則、乱反射、合わせ鏡、凹面鏡と凸面鏡、光の屈折、凸レンズ、プリズム、光の三原色と色の三原色、音の三要素、音の速さ、ドップラー効果などを学習します。

合わせ鏡や凸レンズなど、起こっている現象を説明するための基本となる特徴をまずはしっかりと説明できるようにすることが重要です。図をかきながらまとめてみてから、問題に取り組むとよいでしょう。

国語

● 物語・小説(3)／挫折と再生

学習内容 ■ 挫折と再生

「挫折⇒再生」という「マイナス⇒プラス」の変化を通じた登場人物の成長を読み取ります。

● イコールの関係③ 比喩／ことわざ

学習内容 ■ 比喩を読み取る

■ ことわざを身につける

「比喩」もまた前後が「換言」の関係にあるパターンの一つです。「何をどのように表現しているのか」を読み取ることで、書き手の思考により深く迫ることができます。

また、『漢字とことば』で学習する「ことわざ」は、中学入試へ向けた言語知識の中では基本中の基本となる単元です。着実にマスターしましょう。

算数

● 場合の数

学習内容 復習内容 ■ 順列 ■ 組み合わせ

新出内容 ■ 道順の計算

■ 前の結果を利用する問題

区別がつくものを並べる、区別がつかないものを並べる、区別がつくものから選ぶ、区別がつかないものから選ぶ、……、それぞれの解き方の違いを正確に分類できているでしょうか。いずれも樹形図を用いて書き出すことはできますが、数が多くなればさすがに樹形図一辺倒では苦しいものです。まずは、これらの違いを理解することから始めましょう。場合の数の応用問題はそれなくして攻略はできません。「重要問題チェック」を徹底的に演習しましょう。

社会

● 社会保障と財政

学習内容 ■ 人口減少社会・高齢社会

■ 社会保障制度 ■ 財政

少子高齢化が進む現状を学習し、その理由と対策への理解を深めます。

社会保障制度は、「社会保険」「公的扶助(生活保護)」「社会福祉」「公衆衛生」の4つの柱を中心に学習します。それぞれの内容と問題点を扱います。また、「ともに生きる社会」として男女平等を目指す「男女雇用機会均等法」などの法整備や、高齢者や障害者とともに暮らせる「バリアフリー」、そして全ての人が利用できる「ユニバーサルデザイン」などについても考えます。

ほかにも、多額の借金を抱える財政の現状を学習します。さらに、税のしくみや問題点、今後の消費税の在り方についての理解も定着させましょう。

理科

● 燃焼・熱

学習内容 ■ 物の燃焼 ■ 熱のはたらき

■ 物質の状態変化 ■ 実験器具(体積をはかる器具)

ろうそくやアルコールランプやガスバーナーの燃え方、いろいろな物の燃え方、燃焼の3条件、燃焼後にできる物質、炭素や水素の燃焼、蒸し焼き、金属の燃焼、酸化と還元、金属のさび、温度と熱、熱量計算、熱の伝わり方、膨張と収縮、物質の状態変化、水の状態図などを学習します。

「熱」をテーマに、様々な現象についてまとめていきます。特に熱量の計算は仕組みが複雑なものを含みますので注意が必要です。また、状態変化に関する事項は気象などの単元にもかかわることが多いので重要です。

国語

● 随筆文(3)／記憶と人生

学習内容 ■ 記憶と人生

「『記憶・人生＝過去』から、筆者の『現在』を見つめ直す」という視点は随筆文の基本です。こうした「過去⇔現在」という対比に込められた筆者の思いに迫りましょう。

● 対比の関係① 逆接／外来語

学習内容 ■ 逆接を用いた対比を読み取る

■ 外来語を身につける

「A⇔B」という対比が登場したら、それに反応し、チェックを入れる習慣づけを徹底します。

また、『漢字とことば』で扱う「外来語」は、お子様にとって馴染みのない語彙も多く登場するはずですが。焦らずに、まずは一つひとつの言葉と意味を丁寧に身につけましょう。

算数

● 割合と比の文章題

学習内容 復習内容 ■ 割合の表し方 ■ 濃さ

■ 売買損益 ■ 比の利用

■ 仕事算

新出内容 ■ 割合の消去算

新出の問題も一部含まれますが、今回はそれほど難度の高いものではありません。よって、一つ前の回の場合の数同様に、復習に力を注ぎましょう。割合や比に関する文章題自体もバリエーションはとても多い単元ですが、それらに加えて食塩水の濃度、売買損益、仕事算など、特殊な文章題も多く学習します。発展問題に無理に取り組むことよりも、夏の2回目の総復習に向けて、基本的な問題であれば、その解き方が思い浮かぶほどになっていることが目標です。

社会

● 世界のすがた

学習内容 ■ 世界地図と世界の国々

■ 地球環境問題

前半部分は、世界地図を「メルカトル図法」「正距方位図法」という2つの図法から学習するとともに、緯線や経線についても確認します。世界の国々ではおもに、アメリカ合衆国や中華人民共和国をはじめとする日本と関係の深い国を中心に扱います。後半部分は地球環境問題について、過去に開かれたおもな国際会議やそこで結ばれた条約を中心にその中身を掘り下げていきます。『考える社会科地図』を用いながら、知識事項を一つずつ整理して学習していく姿勢が大切です。

理科

● 動物

学習内容 ■ 無セキツイ動物 ■ セキツイ動物

■ 動物と環境

■ 実験器具(ガラスを使った器具)

無セキツイ動物、昆虫のからだや育ち方、メダカやフナなどの魚類、カエルなどの両生類、ハチュウ類、鳥類、ホニユウ類、冬眠、生殖、遺伝、からだの大きさと気温、標識再捕獲法、生存率曲線、食物連鎖、炭素と窒素の循環、生物濃縮などを学習します。

まずは代表的な生物についての知識を深めることが重要です。そのうえで、他の生物との関係性やどのように環境に適応しているのかといった、それぞれの生物と外部環境との関連性について考えていくとよいでしょう。

国語

● 物語・小説(4)／家族と友人

学習内容 ■ 家族と友人

「家族愛」「友情」は低学年でも扱う定番のテーマですが、入試本番ではそこにより複雑な人間関係を絡めた作品が出題されます。この回はそうした発展的な文章に触れます。

● 対比の関係② 比べる／慣用句③

学習内容 ■ 比較を用いた対比を読み取る
■ 慣用句を身につける

「AよりB」といった「比較」が生じている対比においては、「どちらに、なぜ筆者は重きを置いているのか」という点を正確に読み取ることがポイントです。

また、『漢字とことば』で再度扱う「慣用句」は、文章中にもしばしば登場する重要単元です。言葉とその意味を粘り強く覚えていきましょう。

算数

● 立体図形(1)

学習内容 復習内容 ■ 立方体・直方体の切断
新出内容 ■ 展開図が正方形の三角すい
■ 切られる小立方体
■ 斜めに切断される柱の求積

復習テーマは立方体・直方体の切断のみとなりますが、立体の切断は、切断の対象となる立体が角柱や角すいになったり、複数回切断したり、とこれから先で難度が上がるテーマです。したがって、切断手順の基礎をしっかりとここで身につけておきましょう。また、新出テーマも多い単元となります。展開図が正方形になる三角すいは、切断面の求積の問題としてよく見られる構図です。さらに、円柱や三角柱を斜めに切った立体の求積方法も、とても重要な解法の一つですから、しっかりと理解を深めておきましょう。

社会

● 国際連合と紛争

学習内容 ■ 国際連合 ■ 国際紛争
■ 国際協力

国際連合の成立からしくみや取り組み、そして課題にいたるまで国際連合についてさまざまな角度から学習します。さらに国際連合の主要機関にとどまらず、主な専門機関の目的や役割・課題、そして日本と国際連合の関係について、内容の定着を目指します。

ほかにも、核兵器廃絶に向けての日本そして世界の動き、さらに問題点まで学習します。

世界の平和に向けての国際協力について、政府(政府開発援助・青年海外協力隊)からの働きかけによる国際協力、さらに国際赤十字・国際オリンピック委員会・ノーベル賞の内容を押さえておきましょう。

理科

● 地層・火山・地震

学習内容 ■ 大地の変化 ■ 火山
■ 地震 ■ 実験器具(測定器具)

流水のはたらき、川の流れと地形、川原の石のようす、流水の利用方法、災害を防ぐ工夫、河岸段丘、海岸の地形、リアス海岸、U字谷、地層のつき方、化石、断層、しゅう曲、整合、不整合、ボーリング調査、岩石、火山、ハザードマップ、火山の噴火、火山の形、地震などを学習します。

意識が多岐にわたるので、まずは一つひとつ丁寧に知識の定着を目指すことが重要です。なお、ボーリング調査で得ることができる地質柱状図から大地の傾きを判断するタイプの問題は、しっかりと繰り返し練習していく必要があります。

国語

● 説明文・論説文(3)／暮らしとテクノロジー

学習内容 ■ 暮らしとテクノロジー

私たちの「暮らし」に「テクノロジー」がもたらした「便利さ・効率化」には、メリット・デメリットが存在します。そうした言わば「光と影」を読み取りましょう。

● 因果関係① 順接・理由説明／三字の熟語②

学習内容 ■ 順接・理由説明を読み取る
■ 三字の熟語についての知識を深める

「順接」「理由説明」に関する接続関係に着目しながら、本文の論理展開を捉える練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、第3回に続けて「三字熟語」を身につけていきます。

算数

● 平面図形(3)

学習内容 復習内容 ■ 多角形の回転・転がり移動
■ 円の回転・転がり移動
■ 図形の平行移動
新出内容 ■ 円の転がりと回転数

この回では、これまでに学習した図形の移動に関する問題を総復習します。一点を中心に回転移動するときの作図方法は、回転の中心から見て、最も近い点と最も遠い点の動きを作図することが鉄則です。また、図形が通過したあとの面積は、全体から不要な部分を引くという考え方で求積します。これまでも多くの解法を学習していますから、今一度各問題の解き方・作図方法を丁寧に指導していきます。

また、新出内容の円の回転数はテーマそのものの難度が高めです。まずは「重要問題プラス」の内容を理解しておくことができれば十分です。

社会

● 現代の日本と世界(1)

学習内容 ■ 日本の貿易のすがた
■ 貿易に関する協定や地域の連携
■ 暮らしと経済

政治や貿易、そして歴史上日本と関係の深い「アメリカ合衆国」「中華人民共和国」と日本の貿易について、統計資料を用いて確認します。さらに、自由貿易協定(FTA)や経済連携協定(EPA)などのつながりや、ヨーロッパ連合(EU)、東南アジア諸国連合(ASEAN)などの地域的な国々のつながりも正確に理解する必要があります。経済について、「お金のはたらき」「ものの値段の決め方」「一般の銀行の働き」「日本銀行の働き」というような基本事項を学習し、そのうえで「景気」の問題を扱います。

理科

● 運動・てこ

学習内容 ■ 物の運動 ■ てこのつり合い
■ 実験器具(重さをはかる器具)

いろいろな運動、静止、慣性の法則、作用反作用の法則、振り子の運動、物体の衝突、斜面からの飛び出し、位置エネルギーと運動エネルギー、てこのつり合い、重心、比を使ったてこの解き方などを学習します。

物の運動を考える際に、位置エネルギーと運動エネルギーを使って考える方法が紹介されます。仕組みを理解するための助けとなるのでじっくりと考察してみるとよいでしょう。力のつり合いについては主に棒のつり合いについて学習していきます。

国語

● 説明文・論説文(4)／人間と社会

学習内容 ■ 人間と社会

「人間」は他者とのコミュニケーションを通じて「社会」を築いてきました。その結果、他の生き物には持ちえない力を得た一方で、それによる弊害も生じています。この回では、こうした「社会」の中で生きる「人間」について論じた作品を扱います。

● 因果関係② 〈因果関係〉の文脈／四字の熟語②

学習内容 ■ 文脈から因果関係を捉える

■ 四字の熟語についての知識を深める

「順接」「理由説明」の接続語を伴わず、文脈から「因果関係」を見抜く必要がある文章を扱います。

また、『漢字とことば』では、第4回に続けて「四字熟語」を学習します。今回も漢字で正確に書けるようにすることを目指しましょう。

算数

● 数と規則性(2)

学習内容 復習内容 ■ 約数 ■ 倍数
■ 小数と分数 ■ 素因数分解
新出内容 ■ あまりの公約数
■ 素因数分解の利用

倍数・約数の文章題に加え、小5下で学習した素因数分解の内容を復習します。特に重要度の高い問題として、倍数とあまりに関する問題と、素因数分解による約数の個数の求め方があります。どちらも小さな数であれば書き出すことで求められるため、解法として理解しているかどうかに差が見られます。書き出すことが困難な大きな数にも対応できるようにするためにもこの機会にしっかりと解法を理解しましょう。

社会

● 現代の日本と世界(2)

学習内容 ■ 日本の自然災害
■ 統計でみる日本のすがた

前半部分は、日本のすがたを「自然災害」という角度から学習します。近年増加傾向にある「地震」や「火山」の噴火、「洪水」といった自然災害とそれがもたらす影響について扱います。後半部分は日本の「人口」や「財政」の現状や問題点について、統計資料を用いながら学習していきます。覚えなければならない知識事項は決して多いわけではありませんが、グラフや表の見方・捉え方など、統計資料に「慣れる」機会をつくることを目的としています。

理科

● 気体・金属

学習内容 ■ 気体の性質 ■ 気体の発生
■ 金属 ■ 実験器具（気体を発生させる装置）

気体の分類、気体の集め方、気体の性質、気体の発生方法、電気による分解、酸素の発生、二酸化炭素の発生、水素の発生、反応する速さ、金属の特徴、合金、原子と分子などを学習します。

グラフや表で与えられた気体の発生量から、過不足なく反応する薬品の量を求めていく計算問題を中心に学習します。まずは過不足なく反応する薬品の量を見極める練習をしっかりとしましょう。そのためには、使用する薬品の性質や化学変化の仕組みをしっかりと定着していくことが重要です。知識の定着と計算方法の定着をバランスよく進めていきましょう。

国語

● 詩・短歌・俳句

学習内容 ■ 詩・短歌・俳句

まずは、韻文特有の基本的な知識を確認します。そのうえで「一つひとつの言葉から、丁寧にイメージを引き出す」という韻文の読解に求められる力を鍛えていきましょう。

● 単語の学習① 助動詞の総復習／故事成語

学習内容 ■ 助動詞の総復習
■ 故事成語を身につける

各助動詞の「用法」とその「判別法」を確認しながら、問題演習の中で総復習します。

また、『漢字とことば』で学習する「故事成語」は、その元となったエピソードと一緒に身につけていくと良いでしょう。

算数

● 速さ(2)

学習内容 復習内容 ■ 点の移動 ■ 通過算
■ 時計算 ■ 流水算
新出内容 ■ 歩数と歩幅
■ 動く歩道

点の移動に加え、通過算・時計算・流水算といった速さの特殊算を復習します。点の移動の問題は小5上以来の学習となりますが、平面図形としての要素、速さとしての要素、数の性質としての要素など、問題の条件によってさまざまな分野と融合する難度の高いテーマです。また、速さの特殊算では流水算と比の問題から派生して、動く歩道に関する問題やエスカレーターに関する問題などを学習します。

社会

● 政治・外交史(1)

学習内容 ■ 原始から鎌倉時代までの政治史
■ 原始から鎌倉時代までの外交史

稲作の広まりによって現れた指導者や支配者が、やがて大王を中心としたヤマト政権として統一されるまでの流れを学習します。国家の権力によって人々が支配される時代となりますのでその中心が天皇から貴族、そして武士へと移っていく流れを整理します。

また、原始時代にさまざまな文化が大陸から日本へ伝わってきたことを、史料や遺跡から理解することも重要です。遣隋使や遣唐使を通して日本へ伝えられた制度や文化の影響を、政治史と絡めながら、古代の日本の様子を踏まえて総合的に押さえてください。

一方、鎌倉時代になると、幕府という形で武家の政権も「源氏」から「北条氏」へと変化を遂げていきます。幕府の仕組み（構造）を改めて確認するとともに、元寇の過程やその後の影響について合わせて確認していきましょう。

理科

● ヒト

学習内容 ■ ヒトのからだの誕生 ■ ヒトと環境
■ 実験器具（観察するときに使う器具①）

栄養素、消化器官、消化酵素、セロハン膜の透過実験、呼吸、心臓、血管、血液、ヘモグロビン、無セキツイ動物との比較、排出器官、骨と筋肉、感覚器官、脳、ヒトの誕生、地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊、水質汚染、外来種、人類の出現と進化などを学習します。

まずは消化、血液の循環についてしっかりと知識を固め、その他のものについては時間をかけて一つひとつ定着を図るような学習が効果的でしょう。環境問題に関しては新出のものが含まれるので注意が必要です。

国語

● 説明文・論説文(5)／日本語と私

学習内容 ■日本語と私

「日本語⇄外国語」という対比を読み取るとともに、「言葉によって構築される『私(自己)』」について考える視点を学びます。

● 単語の学習② 助詞の総復習／類義語

学習内容 ■助詞の総復習
■類義語を身につける

各助詞の「用法」とその「判別法」を確認しながら、問題演習の中で総復習します。

また、『漢字とことば』では、「類義語」を扱います。高度な語彙も登場するので、意味も確認しながら覚えていきましょう。

算数

● 立体図形(2)

学習内容 復習内容 ■立方体・直方体の性質
■角柱と円柱 ■角すいと円すい
■投影図
新出内容 ■最短距離 ■多面体

立方体・直方体の展開図など、小4～小5で学習した立体図形を幅広く復習します。なかでも展開図の性質はこの機会に改めて確認しておきましょう。今後、立体の切断線を展開図にかき込む問題など、展開図の性質を利用する問題も出てくることでしょう。

新出テーマとして、立体表面上の最短距離の問題や多面体の頂点や辺の数を求める問題を扱います。数え上げるのは困難な多面体の頂点・辺の数を算出する方法を指導します。

社会

● 政治・外交史(2)

学習内容 ■室町時代から江戸時代までの政治史
■室町時代から江戸時代までの外交史

後醍醐天皇による「建武の新政」を経て、「足利氏」の政治へと変化した中世の政治史に加え、応仁の乱以降の戦国時代、そして戦国の世の統一に向けた織田信長、統一をなした豊臣秀吉の時代についてまとめます。また、およそ260年間にわたる泰平の世を築いた江戸幕府の政治を、江戸時代初期の政治・幕政改革・幕末の政治の3つを中心に確認します。一方、外交史では、室町時代の朝貢的な勘合貿易からはじまり、スペインとポルトガルなどのヨーロッパ諸国とのつながり、江戸時代の鎖国から外国船の来航、開国へと流れを一気に確認していきます。

理科

● 気象

学習内容 ■気象の観測 ■天気の変化
■実験器具(観察をするときに使う器具②)

温度の測定、飽和水蒸気量、湿度、乾湿球湿度計、風向・風速・風力、雨量、雲量と天気、天気記号、百葉箱、アメダス、気象衛星、気温・地温の変化、水の循環、十種雲形、霧・露・霜・霜柱、気圧と風、海風と陸風、季節風、偏西風、気団、前線、各季節の天気、天気と防災、観天望気などを学習します。

まずは各用語の意味や仕組みや特徴、注意点などをとらえることが重要です。仕組みについては、水の状態変化や熱による膨張と収縮などを参考に考えると効果的です。

国語

● 物語・小説(5)／生と死

学習内容 ■生と死

『死』を知ることで、『生』の重要性に気づく」という登場人物の成長を読み取ります。ここでは、「生と死は表裏一体の関係にある」という発想が重要です。

● 敬語／対義語

学習内容 ■敬語に関する知識を深める
■対義語を身につける

敬語は「尊敬語・謙譲語・丁寧語」の違いを理解するとともに、基本的な「敬語動詞」を瞬時に答えられるようにすることが大切です。

また、『漢字とことば』では、「対義語」を扱います。文章読解においても、「対比関係」を読み取るために重要な言語知識ですから、着実にマスターしましょう。

算数

● 論理・数の操作

学習内容 復習内容 ■概数 ■方陣算
■推理して解く問題
新出内容 ■N進数
■投票の問題

この回では小4夏期に学習した概数や、推理論証の問題を学習します。論理に関する問題は典型的な問題と呼べるものはそれほどなく、各学校が工夫をこらした様々な問題を出題します。つまり、初見となる場合が多いといえます。よって、解法を学ぶというよりは条件の整理の仕方を学ぶ回となるでしょう。

一方で、新出テーマとなるN進数は重要度が高い問題です。普段使用している10進数の数を2進法、3進法で表したり、その逆を求めたり、といった問題を学習していきます。

社会

● 政治・外交史(3)

学習内容 ■明治から昭和時代までの政治史
■明治から昭和時代までの外交史

戦前の歴史では「戦争」が学習の中心です。日清戦争の勝利にはじまり、経済的にも好景気を迎えたことから、戦争という誤った方向へ進んでしまったすがたを政治史を通して学習します。戦後の歴史は民主化と日本の国際社会復帰に向けた動きについて理解することがポイントです。

戦争を中心に学習が進むため、政治史と外交史が他の時代以上に密接に関係します。戦後の民主化もGHQ主導であり、国際社会への復帰も当然政治と外交の両面を持つ内容になります。この時代は複雑な国際関係が入り組んでいますので、特に丁寧な学習を心掛けましょう。

理科

● 滑車・ばね・浮力

学習内容 ■滑車・輪軸 ■ばね・圧力・浮力
■実験器具(薬品の扱い方)

滑車、輪軸、ばねのつり合い、ばねにかかる力、単振動、密度と比重、浮力、圧力、水圧、気圧などを学習します。

ひもにかかる張力や浮力など、静止しているときの力のつり合いについて学習します。力のつり合いに関しては、向きや大きさを矢印でかき込むことで可視化することができます。まずはかき込んでみることから始めるとよいでしょう。特に滑車や輪軸の問題を解くときには、自分がどの滑車・輪軸に注目するのかを明確にしてから矢印をかき込むようにするとよいでしょう。

授業カレンダー〔前期〕

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
2/1 (日)							
2/2 (月)							
2/3 (火)							
2/4 (水)							
2/5 (木)							
2/6 (金)							
2/7 (土)							
2/8 (日)							
2/9 (月)	○	上②					
2/10 (火)	○		上②				
2/11 (水)	○			上②			
2/12 (木)	○				上②		
2/13 (金)	○					上②	
2/14 (土)		Y T ①					
2/15 (日)							
2/16 (月)	○	上③					
2/17 (火)	○		上③				
2/18 (水)	○			上③			
2/19 (木)	○				上③		
2/20 (金)	○					上③	
2/21 (土)		Y T ②					
2/22 (日)							
2/23 (月)	○	上④					
2/24 (火)	○		上④				
2/25 (水)	○			上④			
2/26 (木)	○				上④		
2/27 (金)	○					上	
2/28 (土)		Y T ③					

●小6「予習シリーズ」上巻第1回の授業は、小5の1月最終週
●小6初回授業：2/9(月)
※校舎によって異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
4/1 (水)							
4/2 (木)	講	春期講習会期間					
4/3 (金)	講						
4/4 (土)							
4/5 (日)							
4/6 (月)	／						
4/7 (火)	／						
4/8 (水)	○			上⑧			
4/9 (木)	○				合判対策		
4/10 (金)	○					合判対策	
4/11 (土)		合不合判定テスト①					
4/12 (日)							
4/13 (月)	○	上⑧					
4/14 (火)	○		上⑧				
4/15 (水)	○			上⑨			
4/16 (木)	○				上⑧		
4/17 (金)	○					上⑧	
4/18 (土)		Y T ⑦					
4/19 (日)							
4/20 (月)	○	上⑨					
4/21 (火)	○		上⑨				
4/22 (水)	○			上⑩			
4/23 (木)	○				上⑨		
4/24 (金)	○					上⑨	
4/25 (土)		Y T ⑧					
4/26 (日)							

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
6/1 (月)	○	上⑭					
6/2 (火)	○		上⑭				
6/3 (水)	○			上⑭			
6/4 (木)	○				上⑭		
6/5 (金)	○					上⑭	
6/6 (土)		Y T ⑬					
6/7 (日)		全国統一小学生テスト					
6/8 (月)							
6/9 (火)							
6/10 (水)							
6/11 (木)							
6/12 (金)							
6/13 (土)		レベルアップ授業					
6/14 (日)		組分けテスト⑭					
6/15 (月)	○	上⑮					
6/16 (火)	○		上⑮				
6/17 (水)	○			上⑮			
6/18 (木)	○				上⑮		
6/19 (金)	○					上⑮	
6/20 (土)		Y T ⑮					
6/21 (日)							
6/22 (月)	○	上⑮					
6/23 (火)	○		上⑮				
6/24 (水)	○			上⑮			
6/25 (木)	○				上⑮		
6/26 (金)	○					上⑮	
6/27 (土)		Y T ⑯					
6/28 (日)							
6/29 (月)		判対策					
6/30 (火)		合判対策					
6/31 (水)							

分けテストの対策補講です。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
3/1 (日)							
3/2 (月)	○	上⑤					
3/3 (火)	○		上⑤				
3/4 (水)	○			上⑤			
3/5 (木)	○				上⑤		
3/6 (金)	○					上⑤	
3/7 (土)		Y T ④					
3/8 (日)							
3/9 (月)	○	上⑥					
3/10 (火)	○		上⑥				
3/11 (水)	○			上⑥			
3/12 (木)	○				上⑥		
3/13 (金)	○					上⑥	
3/14 (土)		組分けテスト⑤					
3/15 (日)							
3/16 (月)	○	上⑦					
3/17 (火)	○		上⑦				
3/18 (水)	○			上⑦			
3/19 (木)	○				上⑦		
3/20 (金)	○					上⑦	
3/21 (土)		Y T ⑥					
3/22 (日)							
3/23 (月)							
3/24 (火)							
3/25 (水)							
3/26 (木)	講	春期講習会期間					
3/27 (金)	講						
3/28 (土)	講						
3/29 (日)	講						
3/30 (月)	講						
3/31 (火)	講						

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
5/1 (金)							
5/2 (土)							
5/3 (日)							
5/4 (月)							
5/5 (火)							
5/6 (水)	○			上⑩			
5/7 (木)	○				上⑩		
5/8 (金)	○					上⑩	
5/9 (土)		組分けテスト⑨					
5/10 (日)							
5/11 (月)	○	上⑪					
5/12 (火)	○		上⑪				
5/13 (水)	○			上⑪			
5/14 (木)	○				上⑪		
5/15 (金)	○					上⑪	
5/16 (土)		Y T ⑩					
5/17 (日)							
5/18 (月)	○	上⑫					
5/19 (火)	○		上⑫				
5/20 (水)	○			上⑫			
5/21 (木)	○				上⑫		
5/22 (金)	○					上⑫	
5/23 (土)		Y T ⑪					
5/24 (日)							
5/25 (月)	○	上⑬					
5/26 (火)	○		上⑬				
5/27 (水)	○			上⑬			
5/28 (木)	○				上⑬		
5/29 (金)	○					上⑬	
5/30 (土)		Y T ⑫					
5/31 (日)							

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
7/1 (水)	○			合判対策			
7/2 (木)	○				上⑰		
7/3 (金)	○					上⑰	
7/4 (土)		合不合判定テスト②					
7/5 (日)							
7/6 (月)	○	上⑰					
7/7 (火)	○		上⑰				
7/8 (水)	○			上⑰			
7/9 (木)	○				上⑰		
7/10 (金)	○					上⑰	
7/11 (土)		Y T ⑰					
7/12 (日)							
7/13 (月)	○	上⑱					
7/14 (火)	○		上⑱				
7/15 (水)	○			上⑱			
7/16 (木)							
7/17 (金)							
7/18 (土)		総合回⑱					
7/19 (日)							
7/20 (月)							
7/21 (火)	講	夏期講習会期間					
7/22 (水)	講						
7/23 (木)	講						
7/24 (金)	講						
7/25 (土)	講						
7/26 (日)	講						
7/27 (月)							
7/28 (火)	講						
7/29 (水)	講						
7/30 (木)	講						
7/31 (金)	講						

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●6/29(月)～7/1(水)は合不合判定テスト対策週です。

